



のびのびすくすく

石戸谷小児科

2013、4

No. 60

03-3430-1070



入園入学おめでとうございます！

桜の花は残念なことに一足先に

散ってしまいましたがかわいい

写真とりましたか？



今年卒業式と桜といった風情でしたね。我が家の息子の卒園式の時も桜が早かったような記憶があります。成長の節目の時には記念写真がつきものです。今は近くに写真館もありいろいろな写真が楽しめるようですね。今年親戚の子ども入学式や初節句があり記念の写真を撮っている様子をビデオでみせてもらいました。出来上がった写真よりもその風景の楽しいこと。泣いている赤ちゃんをあやす周囲の必死の様子、気取った様子のお兄ちゃんやお姉ちゃん、そして様々なポーズをとる新一年生。「初めてのお使い」ではありませんが子どもっていてあきませんね。診察中も泣いている赤ちゃんがかわいくてほほえんでしまうこともあります。かわいそうなんだけどかわいい！いじめて喜んでいるわけではありませんので許して下さい。

さあ新入園児や新一年生、しばらくは慣れるまでちょっと大変ですね。生活リズムも大きく変わります。学校や園での緊張もあり疲れも倍増です。無理をせずのんびり付き合ってください。最初に飛ばしすぎると連休明けに反動がきます。ゆっくりペースでスタートしましょう。

風疹が大流行！

mother's study番外編

大人の間で風疹が大流行。おなかの中の赤ちゃんを守るため、**都は風疹ワクチンの助成を開始。**

今では1歳時と入学前に2回接種する麻疹風疹ワクチンですが、以前は女子のみが風疹ワクチンを行っていたり、接種が1回の時代があったりと抗体を持っていない成人がたくさんいます。その抗体を持っていない大人の間で風疹が大流行しています。風疹は症状が軽い方もいるのでかかった本人はあまり緊迫感がないのですが、実は妊娠初期のお母様がかかると大変なことになります。おなかの中の赤ちゃんに大きな障害が起きるのです。先天性風疹症候群といって白内障や難聴、心臓の病気を持って生まれてくる可能性が高くなります。発達の遅れや他の奇形を生じることもあります。

今年の風疹患者数はすでに昨年の患者数の約3割。昨年の同時期に比べて20倍という勢いで流行しています。流行を防ぐためには多くの方が予防接種を受けて抗体を保持してもらう以外にありません。東京都は緊急対策として**19歳以上の女性で特に妊娠を希望している方、妊婦の夫**を対象に**風疹ワクチンまたは麻疹風疹ワクチンの助成**を4月1日から開始しました。それぞれ**3千円または4千円の自己負担**となります。成人の麻疹も重症化してなくなることもあります。ぜひこの機会に予防接種を受けてください。なお妊娠中の方は接種できません。接種後は2ヶ月妊娠は避けましょう。

スギ花粉のピークは過ぎました！

ヒノキの花粉症のある方はもうしばらくの辛抱です。



昨年の夏は残暑が続いたため花粉を作る雄花が良く生育しました。さらに今年は表年といわれる飛散量の多い年にあたっていました。予想では昨年の2倍近い飛散量といわれていました。予想通り大変でしたね。風の強い日も多く花粉に加え黄砂やPM2.5の不安もあり本当に心配でした。でもやっとスギ花粉に関してはピークが過ぎました。ヒノキ花粉症のある方は5月いっぱい花粉対策を続けましょう。あともう少しの辛抱です。今年症状のひどかった方は来年は早めに1月末から予防を始めましょう。

病気のトレンド こまめ流行通信

- ・インフルエンザ;ほとんど流行っていません。
- ・水痘;流行しています。
- ・おたふく;あまり流行っていません。
- ・感冒性胃腸炎;ノロウイルス、ロタウイルスによる胃腸炎がかなり流行っています。感染力が強いので十分気をつけて下さい。
- ・溶連菌感染症;少し流行っています。
- ・アデノウイルス感染症;少し流行っています。

季節の変わり目で喘息症状が久しぶりにでることがあります。咳が増えたり、ゼーゼーしたときは早めに受診しましょう。



ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がんワクチンの定期接種化が決まりました！！



3月29日金曜日夕方5時ごろやっとヒブ、肺炎球菌、子宮頸がんワクチンの定期接種化の法律が参院で可決されました。週末で4月1日から開始できるのかとても心配でした。何しろ定期化になると問診票はどれを使うのか、ワクチンはどのように購入するのかといった行政とのやり取りが必要になるからです。各医院全部にいろいろな情報を流す必要もあり本当にこんなひやひやはやめてほしいものです。でも良かったですね！これで皆様無料でこれらの予防接種を受けることができるようになります。しかし財政的にはきびしい市町村もあるようで実は無料でなく一部負担をとるところもあります。狛江市は無料で接種できます。小さな市でありながら一生懸命頑張っている行政にも感謝ですね。これからも行政と一緒に狛江市の子どもたちのために頑張っていきたいものです。

今週末また勉強会で国立感染研究所の多屋先生から予防接種のお話を伺いました。ヒブや肺炎球菌のワクチンを今2ヶ月から接種している方が多いと思いますが、それに伴い4種混合（または3種混合）ワクチンの接種も3ヶ月から早いスタートで始まり百日咳の流行が減少しているようです。またワクチンへの関心が高まり1歳過ぎで麻疹風疹ワクチンに引き続き水痘やおたふくかぜのワクチンを接種する方が増えているように思います。今年は例年より水痘の流行があまりひどくならずすんでいるのもその影響かもしれません。

ワクチン後進国から先進国へもう一歩ですね！